



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 オプテックス株式会社

コード番号 6914 URL <http://www.optex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼代表取締役社長 (氏名) 小林 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理統括本部長 (氏名) 東 晃

TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日

平成26年9月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第2四半期 | 12,517 | 12.5 | 1,380 | 38.8 | 1,423 | 12.9 | 833 | 13.8 |
| 25年12月期第2四半期 | 11,128 | 9.3 | 994 | 85.8 | 1,261 | 94.6 | 732 | 228.5 |

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 618百万円 (△59.4%) 25年12月期第2四半期 1,523百万円 (286.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期第2四半期 | 50.36 | — |
| 25年12月期第2四半期 | 44.25 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|--------------|--------|---|--------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第2四半期 | 27,868 | | 22,766 | | | 76.6 |
| 25年12月期 | 27,532 | | 22,311 | | | 76.3 |

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 21,358百万円 25年12月期 21,008百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 25年12月期 | — | 15.00 | — | 15.00 | 30.00 |
| 26年12月期 | — | 20.00 | — | — | — |
| 26年12月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 35.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 創立35周年記念配当 5円00銭

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 26,700 | 13.2 | 2,900 | 37.5 | 3,000 | 14.1 | 1,850 | 14.2 | 111.78 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-----------|--------------|---------|--------------|
| 26年12月期2Q | 16,984,596 株 | 25年12月期 | 16,984,596 株 |
|-----------|--------------|---------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 26年12月期2Q | 435,067 株 | 25年12月期 | 434,602 株 |
|-----------|-----------|---------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-----------|--------------|-----------|--------------|
| 26年12月期2Q | 16,549,746 株 | 25年12月期2Q | 16,551,047 株 |
|-----------|--------------|-----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、国内においては消費税率引上げに伴う駆け込み需要とその反動による影響がありましたが、政府による一連の経済政策を背景に、円安継続による企業収益の回復、設備投資や雇用情勢の改善など、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。

一方、海外におきましても、米国の金融緩和縮小による影響や中国の経済減速など先行きへの懸念は残るものの、全体として緩やかな回復傾向で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、技術、製品、販売チャネルなどのリソースの共有による全グループの戦略的なシナジー効果を発揮させ、よりグローバルに事業を拡大し、世界各地域の文化やニーズに応じた事業展開を図るために「事業と地域のマトリックス制」組織にて、業績の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、125億17百万円と前年同期に比べ12.5%の増収となりました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の獲得に加え、為替の円安影響などもあり営業利益は13億80百万円（前年同期比38.8%増）、経常利益は14億23百万円（前年同期比12.9%増）、四半期純利益は8億33百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高88億7百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益9億54百万円（前年同期比48.2%増）となりました。

防犯関連につきましては、売上高64億16百万円（前年同期比12.7%増）となりました。海外におきましては、南欧向け輸出の回復などにより屋外警戒用センサの販売が順調に推移し、前年実績を大幅に上回り収益に大きく貢献いたしました。国内におきましては、警備会社向けの販売が堅調に推移し、僅かながら前年実績を上回りました。

自動ドア関連につきましては、欧州向けの販売が順調に推移し、国内におきましても消費税に伴う駆け込み需要の反動減は見られたものの、建築業界の活況に伴い販売が堅調に推移し、売上高20億81百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

② F A事業

F A事業は、海外におきましては、欧州及びアジア向けの販売が順調に推移し、前年実績を上回りました。国内におきましても、物流、電子部品、自動車業界において設備投資が活発に行われたことにより、販売が順調に推移しました。この結果、売上高は25億40百万円（前年同期比17.3%増）となりましたが、プロダクトミックスの変化及び中国合弁会社の本格的な稼働に伴う販管費の増加により、営業利益は1億14百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

③ 生産受託事業

生産受託事業は、受託製品が減少したことにより減収となり、売上高は3億55百万円（前年同期比11.1%減）となりましたが、営業利益は原価率の改善などにより77百万円（前年同期比136.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は278億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億36百万円増加しました。

流動資産は187億95百万円となり、21百万円減少しました。これは主に資金運用に伴う有価証券が1億65百万円増加したものの、為替変動の影響もあり受取手形及び売掛金が1億21百万円、配当金や法人税等の支払いにより現金及び預金が69百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は90億73百万円となり、3億58百万円増加しました。これは主に資金運用に伴う投資有価証券が3億85百万円増加する一方で、償却等に伴い無形固定資産が48百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は51億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少しました。これは主に支払いにより未払法人税等が1億73百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は227億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億54百万円増加しました。これは主に為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が2億34百万円減少したものの、利益剰余金が5億85百万円、少数株主持分が1億4百万円それぞれ増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して69百万円減少し、79億68百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は10億2百万円（前年同期は11億75百万円の獲得）となりました。これは主に法人税等の支払（7億7百万円）による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益の確保（14億7百万円）により資金が増加したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は7億93百万円（前年同期は8億72百万円の使用）となりました。これは主に資金運用に伴う有価証券及び投資有価証券の取得・売却（差引支出5億43百万円）及び有形固定資産の取得・売却（差引支出1億96百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億56百万円（前年同期は2億62百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額（2億48百万円）があったものの、少数株主からの払込による収入（1億7百万円）があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年6月13日の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,037 | 7,968 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,118 | 4,996 |
| 有価証券 | 1,264 | 1,429 |
| 商品及び製品 | 2,224 | 2,219 |
| 仕掛品 | 69 | 59 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,102 | 1,247 |
| 繰延税金資産 | 474 | 466 |
| その他 | 551 | 429 |
| 貸倒引当金 | △25 | △20 |
| 流動資産合計 | 18,817 | 18,795 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,083 | 1,068 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 396 | 385 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 294 | 341 |
| 土地 | 1,203 | 1,203 |
| 建設仮勘定 | 36 | 29 |
| 有形固定資産合計 | 3,014 | 3,028 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 808 | 678 |
| その他 | 519 | 602 |
| 無形固定資産合計 | 1,328 | 1,280 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,416 | 3,801 |
| 繰延税金資産 | 598 | 591 |
| その他 | 395 | 422 |
| 貸倒引当金 | △37 | △50 |
| 投資その他の資産合計 | 4,372 | 4,764 |
| 固定資産合計 | 8,714 | 9,073 |
| 資産合計 | 27,532 | 27,868 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,188 | 1,133 |
| 短期借入金 | 490 | 476 |
| 未払金 | 575 | 505 |
| 未払法人税等 | 695 | 521 |
| 繰延税金負債 | 8 | 7 |
| 賞与引当金 | 105 | 102 |
| 役員賞与引当金 | 43 | 10 |
| その他 | 548 | 743 |
| 流動負債合計 | 3,655 | 3,499 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 129 | 128 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 26 | 26 |
| 退職給付引当金 | 901 | 913 |
| 役員退職慰労引当金 | 492 | 517 |
| その他 | 14 | 17 |
| 固定負債合計 | 1,565 | 1,603 |
| 負債合計 | 5,220 | 5,102 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,798 | 2,798 |
| 資本剰余金 | 3,653 | 3,653 |
| 利益剰余金 | 14,308 | 14,893 |
| 自己株式 | △540 | △541 |
| 株主資本合計 | 20,219 | 20,803 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 175 | 160 |
| 土地再評価差額金 | △9 | △9 |
| 為替換算調整勘定 | 623 | 404 |
| その他の包括利益累計額合計 | 789 | 555 |
| 新株予約権 | 18 | 18 |
| 少数株主持分 | 1,284 | 1,388 |
| 純資産合計 | 22,311 | 22,766 |
| 負債純資産合計 | 27,532 | 27,868 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 11,128 | 12,517 |
| 売上原価 | 5,286 | 5,787 |
| 売上総利益 | 5,842 | 6,730 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,848 | 5,350 |
| 営業利益 | 994 | 1,380 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 35 | 46 |
| 受取配当金 | 27 | 34 |
| 持分法による投資利益 | 1 | 11 |
| 為替差益 | 178 | — |
| 投資事業組合運用益 | 13 | 21 |
| 受取賃貸料 | 10 | 10 |
| 保険返戻金 | 0 | 9 |
| その他 | 12 | 31 |
| 営業外収益合計 | 280 | 164 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 3 |
| 為替差損 | — | 106 |
| 賃貸費用 | 10 | 9 |
| その他 | 1 | 1 |
| 営業外費用合計 | 13 | 121 |
| 経常利益 | 1,261 | 1,423 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 15 | — |
| 特別利益合計 | 16 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 0 | 16 |
| 減損損失 | 1 | — |
| 特別損失合計 | 2 | 16 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,276 | 1,407 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 560 | 534 |
| 法人税等調整額 | △54 | 9 |
| 法人税等合計 | 506 | 544 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 770 | 862 |
| 少数株主利益 | 37 | 29 |
| 四半期純利益 | 732 | 833 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日) |
|------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 770 | 862 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 103 | △17 |
| 為替換算調整勘定 | 649 | △225 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0 | △0 |
| その他の包括利益合計 | 753 | △243 |
| 四半期包括利益 | 1,523 | 618 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,465 | 599 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 57 | 19 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日) |
|-------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,276 | 1,407 |
| 減価償却費 | 236 | 247 |
| のれん償却額 | 110 | 127 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 22 | 11 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 15 | 24 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 3 | 8 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △3 | △3 |
| 受取利息及び受取配当金 | △63 | △81 |
| 支払利息 | 1 | 3 |
| 為替差損益 (△は益) | △25 | 10 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △1 | △11 |
| 投資有価証券売却及び評価損益 (△は益) | △15 | △21 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | △1 | 16 |
| 減損損失 | 1 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 27 | 21 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △214 | △211 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △78 | 49 |
| その他 | 119 | 28 |
| 小計 | 1,411 | 1,627 |
| 利息及び配当金の受取額 | 52 | 83 |
| 利息の支払額 | △3 | △1 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △285 | △707 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,175 | 1,002 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △697 | △476 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 801 | 495 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △734 | △677 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 61 | 115 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △202 | △197 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 6 | 0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △41 | △52 |
| 無形固定資産の売却による収入 | — | 1 |
| 子会社株式の取得による支出 | △65 | △5 |
| 貸付けによる支出 | △7 | △3 |
| 貸付金の回収による収入 | 6 | 7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △872 | △793 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 10 | 7 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | — | 107 |
| 配当金の支払額 | △248 | △248 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △22 | △22 |
| その他 | △1 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △262 | △156 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 365 | △122 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 406 | △69 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,912 | 8,037 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,318 | 7,968 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------|------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | センシング 事業 | F A 事業 | 生産受託 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,765 | 2,166 | 399 | 10,332 | 796 | 11,128 | — | 11,128 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 16 | — | 1,663 | 1,680 | 30 | 1,710 | △1,710 | — |
| 計 | 7,782 | 2,166 | 2,062 | 12,012 | 827 | 12,839 | △1,710 | 11,128 |
| セグメント利益 | 643 | 140 | 32 | 816 | 178 | 995 | △0 | 994 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------|------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | センシング 事業 | F A 事業 | 生産受託 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,807 | 2,540 | 355 | 11,703 | 814 | 12,517 | — | 12,517 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 16 | — | 1,791 | 1,807 | 31 | 1,839 | △1,839 | — |
| 計 | 8,823 | 2,540 | 2,147 | 13,511 | 845 | 14,356 | △1,839 | 12,517 |
| セグメント利益 | 954 | 114 | 77 | 1,145 | 232 | 1,378 | 2 | 1,380 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。